

『環境のE U、規範の政治』

ナカニシヤ出版・2013年3月

白井陽一郎
新潟国際情報大学
慶應E U研究会
2013年7月27日



第1部 環境のEUの実証研究

第2部 規範の政治の理論研究

第1部 環境のE Uの実証研究

基本テーマ

- E Uはなぜ環境ガバナンスを構築したのか？
- 政治のツールとしての環境法・政策？

二つの視点

- ヨーロッパ統合を進めるための施策
- グローバル戦略を進めるための方策

第1部 環境のEUの実証研究

第1章 環境政策の発展と規範の進化

第2章 持続性戦略とヨーロッパ統合

第3章 エコロジカル・デモクラシー

第4章 グリーン・アイデンティティ

第1章 環境政策の発展と規範の進化

- アキ・コミュニテールとアキ・ポリテイク
- 共同市場の創設と国際合意の導入
- 歴史制度論仮説

第2章 持続性戦略とヨーロッパ統合

- OMC（裁量調整方式）
- 言説を規制する E U

第3章 エコロジカル・デモクラシー

- マルチレベル・ガバナンスと環境法違反
- 規範像・環境権・司法アクセス・緑の代理人

第4章 グリーン・アイデンティティ

- 環境スタンダードの対外発信
- 多国間主義の環境政治リーダー
- 環境規制と標準化戦略

第2部 規範の政治の理論研究

基本テーマ

- 説明モデルと規範モデルのからまりを意識
- 個別政策分野の研究と統合・政体研究の結合

二つの視点

- マルチレベル・ガバナンスゆえの規範パワー
- 政策言説・統合言説・政体言説の齟齬・調和

第2部 規範の政治の理論研究

第5章 マルチレベル・ガバナンスの規範パワー

第6章 言説アプローチの射程

第7章 ASEANにおける持続可能な発展の言説とソフトロー

第5章 マルチレベル・ガバナンスの規範パワー

- MLG：EUの内を説明？
➔ 主権を超える参加デモクラシー
- NPE：外のEUを説明？
➔ 国益を超えるヨーロッパの価値
- 両者の規範的意味連関の暗黙の想定を問題

第6章 言説アプローチの射程

- 個別政策分野の研究の集積
➔いかに統合と政体の研究へ結びつけるか？
- 個別政策分野のストーリーラインと、統合・政体ナラティブの、適合・不適合関係に注目。
➔EU政体を損ない、統合を後退させる政策？
- メタ言説の存在を意識
➔国民国家の言説とポスト国民国家の言説

第7章 ASEANにおける持続可能な発展の言説とソフトパワー

- 言説規制の地域共同体／政策実行の加盟国？
- ソフトローの政治機能としての言説構造化

おわりに

E U研究をどう構想するか？

- マーストリヒト条約以降の展開：
善であることの自明な国家統合研究から、
善であることの証明が必要な政体研究へ。
- 前例なき政体E Uの国際アイデンティティの
あり方を解明するというリサーチアジェンダ
- 規範モデルの構築へ。